



支川の改修工事も進む (天神川中国道下)



武庫大橋下流砂州がなくなる。アユ遡上してくれるかな？



南部橋右岸取り付け道路基礎工事は始まる



南部橋架橋工事は始まる



阪神武庫川駅からみた工事現場



水温みカヌーが浮かぶ南部橋工事現場

各地の支川でも改修工事が佳境に入っている。工事計画は広報されていると思うが、現場に立つまで武庫川守の目にはふれない。武庫川流域全体に目を配り情報把握と情報発信に努め正しい情報を伝える打力が怠れない。

南部橋架け替え工事も架橋工事が始まり全貌が見える日も近いことだろう。右岸側の取り付け道路工事も始まり、架け替え後の道路の様子も想像出来るまでに順調に工事が進んでいる。大規模な工事の作業現場ではピント張り詰めた空気が感じられ、地域にも、ここを利用する地域住民や作業員にも安全に配慮されていることが感じ取れる。事故なく工事が終わることを願う。一つだけ気がかりなのは、南部橋右岸の少し広くなったところに建つお地蔵さんに立ち退き命令が出されている。武庫川の安全を祈念して建立したであろう施主の思いを文化財として残せないだろうか。

武庫大橋下流の砂州が奇麗に取り除かれ真っ平らになり水脈筋がなくなり、今年のアユ道間違えずに遡上してくれるのかチョッピリ気になる。土砂流出の激しい武庫川は強かで、川自ら川づくりする。来年には水脈筋復活することだろう。工事用仮設橋梁が流れを阻害するのではと心配する声も聞こえてくるが、濁水期間中だけの構造物で、数年かかる工事期間中に何度も設置・撤去が繰り返され無駄にも見えるが安全に配慮したもので無駄ではない。